

○当初予算の主要な事業(一般会計)

第1次佐伯市総合計画の『後期基本計画』の中の基本目標・個別目標に位置づけて作成しています。

7款 商工費

番号	基本 目標	個別 目標	事業 主 名 な 業 業 業 内 容	担当課	予算額 (千円)
113	6	17	商工業振興事業 - 商工会事業補助金 市内の8商工会が、平成20年4月1日に合併し、2商工会となった。この商工会が実施する商工会会員に対する経営改善事業に対し、県の助成後の自己負担分の7割を上限として、市が助成する補助事業。	商工振興課	24,000
114	6	17	商工業振興事業 - 中小企業振興資金貸付金 中小企業振興資金を取り扱う市内金融機関に対し預託を行う。	商工振興課	160,000
115	6	17	商工業振興事業-地方卸売市場統合整備事業 佐伯市総合運動公園下に整備されている防災公園の一部用地を利用して、市内3青果市場を統合した地方卸売市場を民間資本で開設するとともに、高速道路利用者の立ち寄りによる、地域活性化の取り組みを行う用地として整備を行う。	商工振興課	18,037
116	6	17	企業誘致対策事業 - 企業立地助成金事業 佐伯市企業立地促進条例により企業の設備投資等について助成を行うもの。過年度分6件(サニープレイスファーム、興人ライフサイエンス1期・2期、安部水産、安東工業所、アイエヌラインロジスティクス)に加えて、平成26年度操業開始分として新たに2件(オンスイトミタカ、大和冷機工業)が助成対象となる見込みである。	商工振興課	107,937
117	6	17	企業誘致対策事業-企業誘致事業 平成26年中は、イーレックスの国内最大級のバイオマス発電所の進出に加えて、NIPPOのアスファルト工場市内移設があり、引き続き門前用地への複数企業の進出に向けての協議を進めているところである。また、国からバイオマス産業都市に指定されたことで、バイオマス関連企業の誘致が今後進んでいくことも期待される。しかしながら企業立地動向は引き続き厳しい状況にあり、これまで以上に積極的な誘致活動を展開する必要がある。	商工振興課	4,974
118	6	18	観光推進事業-(本庁～蒲江)観光事業費 食観光の推進・ツーリズムの推進・観光ガイドの充実・観光客誘致の促進・広域観光の取り組みといった目標を主に、市内観光の充実と観光行政の推進を行う。	観光課	73,746
119	6	18	観光推進事業-観光情報発信力強化事業 観光ホームページのリニューアルを常時行い、より完成度の高いホームページに昇華させる。また、毎日更新のホームページ体制を堅持することによって、観光情報の発信力の強化を図る。	観光課	2,603
120	6	18	観光推進事業-観光デザイン統一化事業 観光施設のマップやパンフレットなど標示物のデザインの統一化により、市内周遊観光の促進を図る。	観光課	2,603
121	6	18	観光推進事業-ツーリズム戦略事業 東九州自動車道北九州～宮崎全線開通を視野に、宮崎方面など新たな観光需要を開拓し、また素通りされない地域として街・浦・里の魅力を活かした周遊型観光の推進対策として市、県、商工会議所等関係8団体を中心となつてまとめた「九州一さいき・ツーリズム重点戦略2014改訂版」に基づき実施する。	観光課	3,627
122	6	18	観光施設整備事業 - 観光施設整備事業費 工事を伴う施設整備事業で、平成27年度は主に道の駅トイレの改修、鶴見海望パーク施設改修を実施する。	観光課	60,304
123	6	18 新規	観光施設整備事業-周遊型観光促進拠点施設等強化事業 九州一広大な面積を有する本市に点在する多種多様な観光資源・観光施設の魅力アップに繋がる資源磨き、施設の整備・改修を通じて地域独自の魅力を活かした地域密着型観光商品の拠点強化を図る。(市1/2 県1/2)	観光課	6,735
124	6	18 新規	観光交流館管理事業-観光交流館管理事業 本市を訪れる観光客に対し、観光案内、情報発信、おもてなしを行う場として、また、市民と観光客が交流を行う場として整備した観光交流館の管理運営を行う。	観光課	7,217